

Warta DAICHI

大地のジャカルタ便り



2歳の誕生日を祝う

ハイライト:

二歳の誕生日を迎え、もう「赤ちゃん」とは呼べなくなりました。大地はどのように誕生日を過ごしたのでしょうか。こんなことも？大地の成長を感じたエピソードを紹介します。

歌もダンスも大好きな大地。お得意レパートリーも増えました。

目次:

しまじろう、ごめんね	2
ただいま創作活動中	2
タオルでふきふき	2
大地の歌の世界	3
「どうぞ」「あじがと」	3
お友達を紹介します	3
マイブーム	4

2月12日、大地はジャカルタで2歳の誕生日を迎えました。元気にこの日を迎えられたことを、私達を支えて下さった全ての方々にお礼申し上げます。

さて、お誕生日を祝うのはどこの国でも同じこと。ただここで少し違うのは、お誕生日を迎えた人が周囲の人々に感謝と祝福を与えるのが、ここでの

抜け出してきた母が部屋にはいると、大地はひな壇にひとりちょこなんと座っていました。そこで騒ぐでもなく非常に寡黙に周囲を観察しておりました。みんなに歌をうたってもらって、ケーキのろうそくの火を先生と母と一緒に吹き消しても落ち着いたもままでした。お友達に大地から一人ずつにプレゼントの菓子パンを配り、握手をして、お友達からはそれぞれに「Happy Birthday」と言ってもらいました。終始冷静だった大地が一番興奮したのはこのあと、飾りつけに使っていた風船を先生が配り始めたときです。「かあさん、風船！」と言って必死に教えてくれました。かくして黄色い風船が今も楽しいパーティの名残で部屋の片隅に転がっています。



誕生日の過ごし方ということです。12日が日曜日だったので、14日にプレイグループでお誕生日会をしました。その日は、大地の大好きな先生の誕生日だったので、一緒に誕生日会をするようになりました。

ちょうどバレンタインデーのこの日、みんなピンク色の服をきて登園しました。パーティの時間になるころ仕事を



見て！僕の自転車

乗り物好きの大地は、誕生日前に買ってもらった自転車がとても自慢です。ご近所の赤ちゃんが乗り物に乗っていると、押しのけてでも乗らせてもらう(?)大地。母がその話にあきれてみると、「(だって僕)ゆうたろう(くん)に)貸して(ってちゃんと頼んだも

ん)」と主張していました。「自転車買ってやるしかないな、誕生日を待たなくていいよ」という父の一声で、大地は念願の自転車をゲットしました。翌朝、ゆうたろうくんが家の前を例の乗り物で通りかかると、すぐに自転車を取りにでかけて見せびらかしていた大地でした。

しまじろう、ごめんね

「しまじろう」は大地の大切なお友達。「しまじろう父さん」と「しまじろう母さん」と「しまじろう」のお人形と今日も遊んでいます。でもちょっと気に食わないことがあったのか、お人形を床に向かって投げました。わあ、いたそう。ちょっとかわいそうになって、「いたいのいたいの飛んでいけ」をしまじろうにしてやることのできる大地ですが、なかなか「ごめんね」の一言がいえぬ大地。「ごめんね」って行ってごらん、と促されるほどむきになって怒るのが常。ところがこの日は、しばらく間をおいて、しまじろうファミリーに対して、「Sorry (ごめんね)」ということができ

ました。自分の非を認めてあやまる、ということはかなり高度な精神活動なのでしょう（大人を考えればそうなのですが）。自分が好きなこと、やりたいことを主張できても、あやまれなかった大地。二歳を目前にして、ようやくお友達にあやまることができました。母は少しほっとし、同時にそこまで成長したことに感慨ひとしおでした。



ただいま創作活動中

日本に帰国したお友達から、素敵な机をいすをいただきました。机をおいた窓際的那の一角は今では大地の大切な創作活



動スペースです。今日も「おえかき」にはまって、真剣な表情でクレヨンを握っています。



2月9日のプレイグループのノートから：今日大地君は、「ママ、クルジャ(仕事)、パパ、ニホン」と言いました。

タオルでふきふき

夜、時々暑くてぐずぐずいう大地。ある晩ぬれタオルで体を拭いてやると、とても気持ちよさそうに寝入りました。それ以来、ぬれタオルでからだを拭いてもらうのが大のお気に入りとなりました。次の晩、「タオルで拭いてあげようか？」と尋ねると、大きくなずいて自分でタオルをもって、洗面所にいきました(笑)。母の助けを借りてタオルをぬらすと、もうわくわく。おなか、おてて、せなかと拭いてもらううちに、はたと気づいた大地。タオルを所望すると今度は

自分がやってもらったように、母のことをタオルで拭いてくれました。自分が気持ちいいことは、みんなも気持ちいいにちがいない、と気づいたようです。「気持ちいい？」と自分が尋ねられたのと同じように、尋ねてくれました。その後は猫のおもちゃを拭いていました。紙でできた猫は迷惑そうでしたが、その光景をちょっとばかり感動しながらみていた母でした。



最近の大地語から：父と母の会話を聞いて、「父さん、残念」と絶妙とタイミングで合いの手を入れました。



大地の歌の世界

大地の三ヶ国語生活は、歌にも広がりを持たせてくれています。

日本語で一番のお気に入りには、「大きな古時計」です。この歌のお蔭で、「おじいさん」「とけい」という言葉を覚えしました。

インドネシア語で一番のお気に入りには、「私の丸い帽子 (Topi Saya Bunda)」という歌です。これはとても単純な歌で、たった6語しか使わないで、次のような内容の歌になっています。「ぼくの帽子は丸いよ、丸いのがぼくの帽子、もし丸くなかったら、ぼくの帽子じゃないよ」というのです(左の写真はジェスチャーつきでうたっているところです)。

英語で一番得意なのは、「Happy Birthday」です。お友達のお誕生日会で歌うので覚えたのでしょう。上手に歌えるんですよ。今回は初めて自分が歌ってもらいました。

時々皆さんに、電話などでご披露することもある大地の歌ですが、エピソードをひとつ。ある晩、父がコンピュータ越しに、歌を所望したところ、母と一緒にインドネシア語の歌を歌い始めました。ところが父と一緒に歌う声が聞こえない、とコンピュータに向かって「父さん、父さん」とクレーム。その後カタカナ・インドネシア語であわてて歌詞を勉強した父でした。

「どうぞ」「あじがと」

最初のページで紹介した自転車。初めて見たときに歓声をあげて駆け寄った大地です。「父さんが買ってくれたんだよ」とその後姿に話しかけると、「父さん、あじがと」といいながら、よじ登ろうとしていました。それ以来、乗る度に「父さん、あじがと」を繰り返しています。ナナちゃんは、時々大地の大好き物のパンケーキを作ってくれるのですが、そのときも歓声をあげて、「パンケーキ! ナナちゃん、あじがと」といいます。最近

は、他の人の「ありがとう」が聞きたくて、「どうぞ」といろいろくれるようになりました。写真はナナちゃんにクレヨンを分けてあげているところです。また、ごはんが大好きな大地。一緒に食事をしていると「おいしいね」も連発します。ちなみに最近「Enak!(おいしい!)」も得意です。単なる親ばかりですが、「ありがとう」と「おいしい」が言えるのはいいなと思っています。



おともだちを紹介します

仲の良いお友達のひとりを紹介します。竜馬くんは4歳の男の子です。大地はいつも一方的に自分のしたいことを主張し、それをお兄さんらしく受け止めようとしてくれる竜馬くんですが、最後には必ずけんかになる二人です。この間遊びに来た時に竜馬くんが泣いたのを、大地は数日しても覚えていて、「竜馬、えんえん」と泣きまねをします。「どうして泣いちゃったの?」と問うと、「(竜馬が大地のおもちゃを)貸して(というから)、(大地が)だめ(といたら)、

(竜馬くんが)えんえん(と泣いた)」と答えるのです。「貸して、どうぞ、といたら」と言うと、「貸して、どうぞ、だめ」と答えます。「でもね、貸して、どうぞ、っていたら竜馬君、にこにこになるよ」というと、「貸して、どうぞ、竜馬、にこにこ」と、おもちゃを貸してあげる気になったようです。さて今度二人が遊ぶとき、どうぞって言えるかな? やっぱりけんかになるんだろうな。



今日も、明日も、元気印。

お待ちしております！

誕生日特大号

Tamanpuri Setiabudi No.19
Jl. Karbela Selatan, Setiabudi, Jakarta,
Indonesia

電話 +62(21)5211519

Fax +62(21)5277409

Email: Okeikoy@aol.com



大地も二歳になり、もう「赤ちゃん」とは呼べなくなりました。言葉もその後増え続け、話せる言葉は400語になりました。日々の変化と成長に目を見張ると同時に、「あれ、まだ赤ちゃんだったんだ」と思わされることも多々あります（本当はあんまり早く大きくならなくていいんだよ：父）。ここまで健康にそして元気に育ってくれたことに感謝し、それを支えてくださった皆様に、心よりお礼申し上げます。



マイブーム

【肩車】

ちょっとしたスリルも面白くなってきたこのごろの大地。だっこのポジションから肩に昇ることもあります。おとと。今日はその様子の撮影に成功。それにしても、やはり育児は体力勝負なのですね。



【プレイグループの帽子とかばん】

最近もらったオレンジの帽子とかばんが、お気に入り。神妙な顔をして、オレンジの帽子をかぶり、かばんを背負って今日もプレイグループに出発です。



【カメラに向かって、チーズ】

お誕生日に、とプレゼントを持ってきてくれたお友達の赤ちゃんに、カメラに向かってこういう風に「チーズ」って言うんだよと実演指導中の大地です。